

3本ハリ仕掛けにパーフェクト達成



# 本命イナダに多彩な魚種も 秋の相模湾でウイリー五目

相模湾腰越港出船

撮影◎本誌編集部



取材日は4人のピキナーグループが貸し道具で楽しんでた



イナダ狙いのタナ取りは海面から、5~15メートルの範囲をシャクリながら誘い上げていく

先ハリが空ハリタイプ、ウイリー仕掛けの先ハリにオキアミを付けて釣り上げた



アベレージは30~40センチ

初挑戦でイナダをキャッチ



釣りは腰越沖の水深20~60メートル前後



クロダイも交じった



ソウダガツオの群れが表層を回遊



深場狙いで釣れたハナダイ



深場狙いではソコイトヨリがよく釣れた



▲コマセカゴはFLサイズ、オモリ60号。アミコマセを使用



船宿仕掛けは全長3メートル、ウイリー3本ハリ

季節に応じて多彩なターゲットを狙える相模湾のウイリー五目は手軽に楽しめる釣り物の一つとしてベテランはもちろんピキナーにも人気。  
取材した腰越港の喜久丸はこの釣りを周年看板に掲げる老舗船宿。秋は腰越沖の水深20~60メートル前後を探り、ポイントごとに魚種を狙い分けている。目下は浅場で本命のイナダを狙い、その後深場でアマダイやイトヨリ、ハナダイなどを釣るというリレー釣りのようなメニューが楽しめる。  
同船はレンタルタックル完備で初心者も大歓迎。秋の相模湾を満喫しよう。(詳細は58ページ参照)

▼当日は全員イナダを釣り上げた



▼イナダは青物入門にピッタリ



取り込みはハリスをたぐり寄せ、タモ入れは船長におまかせ

